

1. 今日の議論でよかったこと

- A～C案が出てきて、各々について議論できたこと。
- 個別の検討ができたことは、評価したい。
- 対策案A～Cが出てきて、検討しやすかった。
- 対策案比較表（たたき台）が示されて、概略のイメージができた。
- 施設に関する具体案を見ることで、イメージしやすかった。
- 対策案比較表があらかじめ作成されていたので、議論が進めやすかった。
- 案の良し悪しの比較が良かった。
- 具体案の示し方が、ようやく分かってきた。
- 内容が見えてきたこと。
- 例を挙げて話し合いをすることができて、良かった。
- 太田小の跡地について、だいぶ進んだこと。
- 一人ずつ、じっくり意見を聞いてもらえて良かった。
- 各々の意見をまとめるのは大変だと思うが、分かりやすく伝えてもらった。
- 前回会議の振り返りを丁寧にしてもらえるのはありがたい。
- 前回会議から追加などができ、柔軟な対応をしてもらえてありがたい。
- 葛塚のまちを良くしていくために、どのようなことを行うべきか知ることができて良かった。
- 資料が整理されていて良かった。さがす手間が省けた。
- みんな意見を出していた。
- 細かいところまで、多くの意見が出ていたこと。
- さまざまな立場の人からいろいろな話を聞くことができて良かった。
- さまざまな人の意見を聞いたのは良かった。

2. 内容について言い足りなかったこと

- 各世代に必要な機能の拠点がどの建物になるのか、○や矢印のような図だけでは分かりにくいと思う。18ページのようなイメージがあると分かりやすいと思う。
- 当日見るだけでは、瞬時に理解して意見を言うのは難しい。
- たたき台に「多世代交流拠点を形成」「多世代交流を図る」という言葉があるが、具体的な内容が不明。他世代が集う場になると、そこで交流する（企画）のは別。交流する内容まで考えておく必要はないか。
- 葛塚コミュニティセンターと公民館が、どのように連携しているのか。
- コストについて分からないので、コストを考えた意見ができない。内容が良い方がいいと思うが、この案はお金がかかると書かれると、どうすればいいか分からない。
- 「まちなか居住」「住み替え促進」「独居老人世帯」「空き家増加」このような課題に対しても、公共施設の配置で対応できる策はある。
- 課題解決の狙いに、高齢者や障がい者の視点を独立した項目として入れた方が良い。
- ハコモノに関する話の中で、地域の工芸品を見せよう場所という話があったが、施設やスペースに常設するのではなく、B案にあるイベント広場で、定期イベントのようなものも良いのでは。（沼垂の市みたいな）
- 財政的効率のみで、公共施設のあり方を考えるべきではない。バランスが必要。
- 防災対策について、もっと発表したかった。

- ただ廃止すればよしではなく、事務局がもう少し、地域の実状や何のためにある施設なのかも含めて、現状の把握をしてほしい。
- 少子・高齢化の中、人口減少対策が大事になる。

3. 進め方について言いたいこと

- スムーズに進行したと思う。
- 良いと思う。
- 分かりやすく良かった。
- 今回の進め方で良い。
- 次回の日程について、もっとはやく知らせてほしい。
- 時間は3時間と長いですが、内容のボリュームが非常にあるので、ついていくのが容易でない。資料の量も膨大で、この場で読み、理解し、考えるところまで行き着けない。
- 内容を知らない人にも分かりやすいように、具体的に説明してほしい。また、専門的な用語をあまり使わないでほしい。
- 資料を事前に配布してもらおうと、内容を読み込んでワークショップに来られるので、事前に配布してほしい。
- 会議案内の際に、具体案を入れてもらいたい。
- 施設の特徴を詳しく知らないなので、話にあまり入れなかった。
- 地域の代表が参加しているので、どうしても施設の廃止については抵抗感があるので、なぜこの会議をしているのか、その趣旨を今一度説明した方がいいのでは。
- 話し合いの前に、テーマを分かりやすく説明してもらおうと、話がそれることも少なくなるかもしれない。
- 休日開催はよしとして、午前中でできないのか。
- 今まで通りで良いが、時間が長い。